

榜角乃新羅國從人事乎吉跡所聞而問放流親族兄弟無國爾渡來座而太皇之敷座國爾內○日指京思美彌爾里家者左波爾雖在○下

〔冠辭考〕うちひさすみや

万葉卷三に、坂上郎女内日指京思美彌爾○中こは麗き日のさす宮とつけし也けり、宇都久志の

都志を反せば知となる故に、略きて字知といへり、

〔萬葉集二十〕八日○天平勝寶廿一年十一月讀岐守安宿王等集於出雲掾安宿奈杼麿之家宴歌二首○中
字知比左須美也古乃比等爾都氣麻久波美之比乃其等久安里等都氣已曾

右一首、守山背王歌也。

〔方丈記〕玉しきの都のうちに、むねをならべ、いらかをあらそへる、たかきいやしき人のすまゐは、代々をへてつきせぬものなれど、是をまことかとたづぬれば、むかし有し家はまれなり。

〔類聚名義抄土六〕京ミヤコ

〔拾芥抄中本官位唐名〕京長安・西・洛・陽・東・京都

花城・京兆・扶風・右・馮翊・左

〔平治物語〕三條殿發向并信西宿所燒拂事

今ハ兵共、京白河ニ充滿リ、

〔續日本紀聖武〕天平十二年十二月丁卯、皇帝在前幸恭仁宮始作京都矣。

〔日本書紀孝德十五〕大化二年正月甲子朔、賀正禮畢、即宣改新之詔曰○中其二曰、初脩京師○下

〔詩經集註〕民亦勞止汔可小康惠此中國以綏四方○中略○中國京師也、四方諸夏之根本也、

〔類聚名義抄土六〕城ミヤコ

〔運步色葉集和〕王城○自王城至陸奥東濱三千五百八十七里也、同至長門西濱一千九百七八十八里也、

〔類聚名義抄水五〕洛ミヤコ